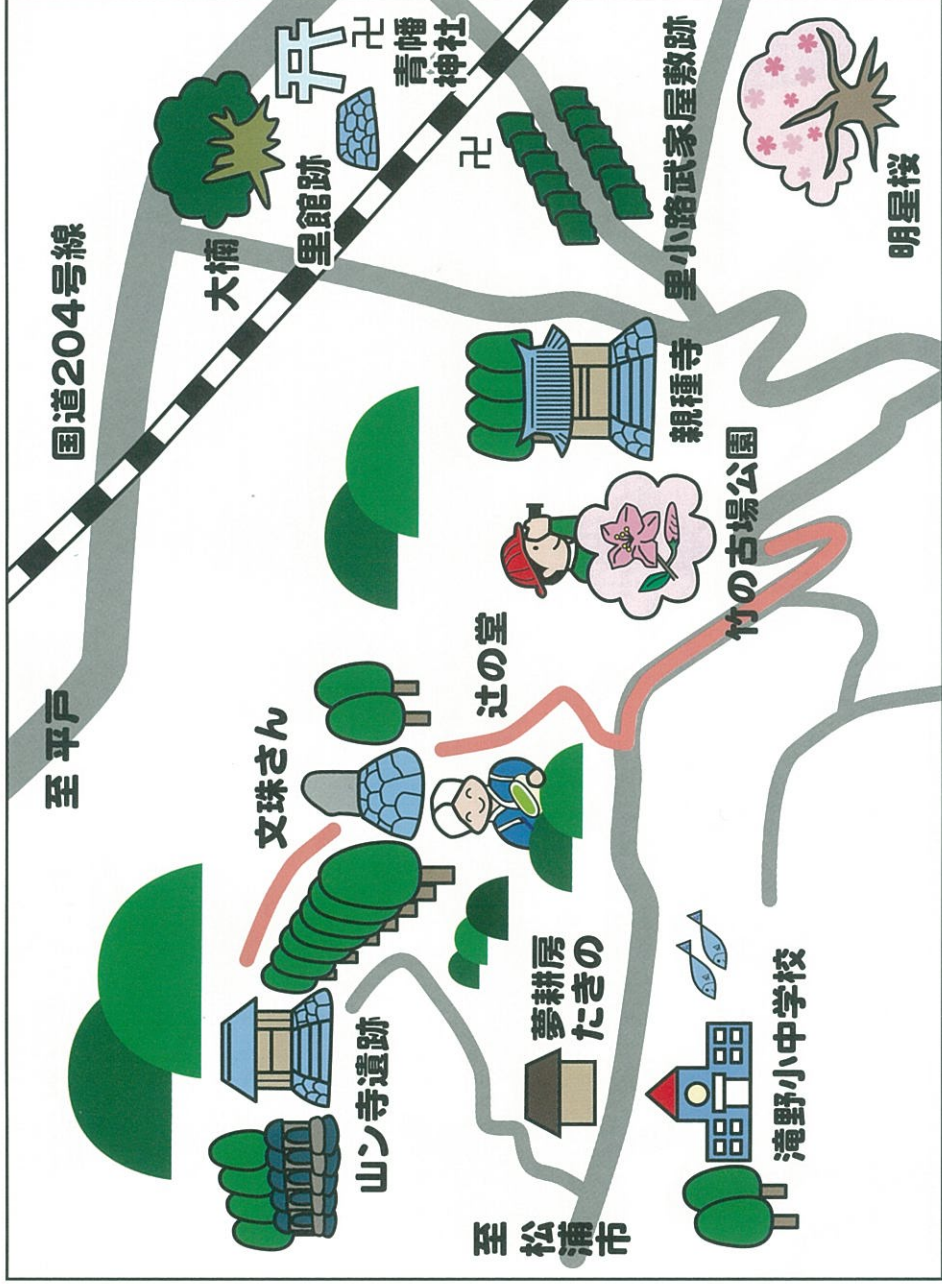


竹の古場 ⇒ 文珠原 ⇒ 山ノ寺遺跡  
道のり5.8km



## 竹の古場公園



竹の古場公園は、玄海国定公園の西端にあります。

山頂にある展望台から、伊万里湾、伊万里市街地を見渡したその眺めは美しく、見事なものです。

春には、つつじが山腹一面に咲き誇り、梅雨時などには、雲海を見ることができ、見事なものです。

西の入口を上ると、小さな社(神を祀った建物)があります。その中には、念仏講の景勝地(景色のよい土地)です。西の入口を上ると、小さな社(神を祀った建物)があります。その中には、念仏講の景勝地(景色のよい土地)です。西の入口を上ると、小さな社(神を祀った建物)があります。その中には、念仏講の景勝地(景色のよい土地)です。

り、およそ350年を経た今日でもはっきりと読みとることができます。

[注意] このコースのうち、「⇒文珠原 ⇒ 山ノ寺」は、森林の保守・保全のため、普段は通行が禁止されています。登山を計画される場合は、事前に東山代公民館にご相談ください。  
12月1日の山ノ寺 文珠さんの祭りの日には、特別に通行が許可されます。

## 文珠原



文珠原山の山頂に、高さ約7mの自然石がそびえており、その表面に、「文珠大菩薩」と刻まれています。

(「もんじゅ」は多く文珠と書かれることが多いのですが、ここでは文珠と書かれています。)

現在は、学問の神様として信仰され、高校や大学への合格祈願にお詣りするひとも多いのですが、巨岩信仰の遺跡としても貴重なものです。

また、中世から近世にかけて、仏教の信者がここに籠もって坐禅行を修めていた修験道場(仏の道を修める場所)であったと考えられています。

文珠巨岩の後方に、1個数トン級の巨大石が並んでいますが、その岩は、そこに神を招いて祭祀(神を祀ること)をおこなった磐座とよばれる遺跡であろうとされています。

## 山ノ寺遺跡



山ノ寺は、松浦党2代目の源直が、平安時代末の久安年間(1145～1150)、この地に館を建て松浦党の根拠地とした場所といわれています。

源直は、先祖の霊を祀るための総持寺や土地の神を祀る山祇神社を建て、また、広大な牧場を営んでいました。

館跡と推定される石垣や直夫妻の埋葬墓、源久・源清の遙拝墓(遠いところからおがむ墓)、また千人塚など、中世期末からの数多くの石造物などが残されており、松浦党の栄華が偲ばれます。

毎年、12月1日には、祭礼が営まれ、伊万里市内だけでなく、有田町、長崎県松浦市・佐世保市などからも、多くの参拝者が訪れています。